

学校課題の解決にICT活用を

～情報化時代の戦略的な学校経営～

－文部科学省委託事業「管理職のための戦略的ICT研修カリキュラムの開発」より－



平成21年3月

日本教育工学協会

管理職のリーダーシップで学校課題の解決にICT活用を

教育の情報化を進め、学校課題の解決にICTを有効に活用するためには、一人ひとりの教員のICT活用能力のみならず、管理職のリーダーシップのもとに、学校が一丸となって取り組む戦略的な学校経営が必要です。

教育の情報化の進展状況は地域や学校によって異なっています。この地域間格差や学校間格差は、児童・生徒の学習環境、情報教育が求める能力の育成、保護者や地域の学校理解に影響します。コンピュータやインターネットなどの充実した教育環境の整備と、それらを活かした豊かで質の高い教育を行うために、教育の情報化のねらいや多様なICT活用を理解し、自らの学校課題を明らかにして、改革への戦略を練る管理職のリーダーシップが求められています。

管理職のための戦略的ICT研修でより良い学校経営の実現を

教育の情報化を理解し、ICTを学習指導や情報教育、校務、地域との交流など、学校活動の様々な場面で活用し、教職員が一丸となって、より良い学校づくりに取り組んでいく体制をどう構築していくか、情報化時代の戦略的な学校経営を考える研修です。

教育の情報化で豊かな教育環境を実現



よくわかる授業で 学力の向上

授業でICTを活用すると、学力の向上に役立つことがわかってきました。新学習指導要領でも多くの教科でICT活用が求められています。



保護者・地域



校務の情報化で 質の改善とゆとり創出

教員同士での情報共有で校務処理の迅速化と質の向上を図りゆとりを創出。児童・生徒と向き合う時間を作り、保護者・地域との連携も深めます。

情報教育や 情報モラル教育で 次代を担う資質を育成

情報化時代に対応した能力と、情報化の影の問題への対応力として、児童・生徒の情報活用の実践力の育成や情報モラル教育がますます必要になってきています。



ICT活用に向けた管理職のとるべきアクションは？

このチェックリストは、『学校の情報化』を進めるに当たり、学校の状況を把握したり管理職がとるべきアクションを検討したりするためのものです。

次の5つの領域の各項目について、「あてはまる(3)」「ややあてはまる(2)」「あまりあてはまらない(1)」「あてはまらない(0)」の4段階で評価してみましょう。

評価の総点の低い領域や項目について、必要に応じて「管理職のための戦略的ICT研修コンテンツ」を見直しながら、改善のアクションを検討してみてください。

これらの活動を副校長(教頭)、教務主任や情報主任等と一緒にすることも一つの方法です。

S:戦略的な学校経営

	3	2	1	0
S-1■ 文部科学省等のホームページを閲覧し、教育の情報化に関わる施策等の情報収集を行っている。	_____	_____	_____	_____
S-2■ 教育の情報化の重要性を職員会議や授業研究会等の場で、教職員に周知している。	_____	_____	_____	_____
S-3■ 学校の情報化を推進するための校務分掌を組織し、適切な人材配置を行っている。	_____	_____	_____	_____
S-4■ 教員のICT活用指導力向上のために学校内外での研修機会を提供している。	_____	_____	_____	_____
S-5■ 学校のICT機器を最大限活用するために配置や利用の工夫を行っている。	_____	_____	_____	_____
S-6■ 学校の情報化を支援する外部人材や技術サポートを活用している。	_____	_____	_____	_____
S-7■ 情報環境整備の充実や情報化推進施策について教育委員会に要望したり、協議したりしている。	_____	_____	_____	_____

A:学力向上のためのICT活用

	3	2	1	0
A-1 教材研究・指導の準備などにICTを活用することを促している。	_____	_____	_____	_____
A-2 週案のチェックや校内巡視等で教室での日常的なICT活用を確認している。	_____	_____	_____	_____
A-3 普通教室の授業で用いるための教材や資料の整備を計画的に進めている。	_____	_____	_____	_____
A-4 ICT活用による学力向上への効果を日常的な学習活動やテストの結果等で確認している。	_____	_____	_____	_____

B:情報活用能力の育成と情報モラル教育への対応

	3	2	1	0
B-1 情報活用能力の育成を各教科の学習活動の中に埋め込むよう配慮している。	_____	_____	_____	_____
B-2 総合的な学習の時間のカリキュラムに情報活用能力を育成する学習活動を組み込んでいる。	_____	_____	_____	_____
B-3 情報モラル教育を日常的な指導と組み合わせる計画的に実施している。	_____	_____	_____	_____
B-4 携帯電話やインターネットの安全な利用について保護者と連携した取り組みを行っている。	_____	_____	_____	_____

C:校務の情報化と情報セキュリティへの対応

	3	2	1	0
C-1 校務の情報化を積極的に進め、業務の効率化や情報の共有化を図っている。	_____	_____	_____	_____
C-2 校務処理のためのシステム、ICT機器の整備に配慮している。	_____	_____	_____	_____
C-3 情報セキュリティを高めるため、教職員への啓発活動を行っている。	_____	_____	_____	_____
C-4 著作権の遵守について、教職員、学習者や保護者の理解を促している。	_____	_____	_____	_____

D:保護者・地域・学校外への広報・説明責任

	3	2	1	0
D-1 情報管理を徹底した上で学校ホームページによる情報発信を積極的に行っている。	_____	_____	_____	_____
D-2 保護者・地域住民等に必要な情報公開を行っている。	_____	_____	_____	_____

忙しい管理職にどのような研修を行うか？

教育の情報化のねらいや多様なICT活用を理解し、自分の学校の課題を明らかにして、改革への戦略を考える内容です。講義とグループ討論、プレゼンテーションとディスカッションからなる実践的な課題解決を考えるワークショップ形式の研修です。



①教育の情報化の目標を講義で確認



②管理職として自分の問題を意識化



③様々の課題を共有するグループ討論



④改革のための取り組みを発表

映像コンテンツDVD

研修のための映像教材も開発され、DVDやWebを通して活用していただけます。内容は総論として、「情報化時代の学校経営」、各論として、「わかる授業のためのICT活用」「児童・生徒のICT活用と情報モラル教育」「校務の情報化と情報セキュリティ」「保護者・地域への広報・説明責任」で構成されています。どれも活用の具体的な事例を紹介しながら、それぞれの目的や効果が理解できるようになっています。



研修支援サイト

URL <http://jslict.org>

多忙な管理職を対象に、地域・学校の実情に合わせた2～3時間で実施可能な研修内容ですが、より多くの実践事例や各地の研修内容、教材などを個別に活用できるよう、研修支援サイトも構築されています。



研修に参加した管理職の感想の一部を紹介します。

- いろいろな活用を見られてとても参考になった。今後自分の学校でも取り組みたいという意欲が湧いてきた。(教頭)
- ICTが苦手な私が楽しく参加いたしました。有意義で参加してよかったと思いました。実現に向けてコツコツと努力していきたいと思っています。(校長)
- 管理職として、何を考え、何をすべきかという視点がよくわかった。このようなワークショップ形式の研修は初めてで、もっと受けたいと思った。(教頭)

日本教育工学協会(JAET)では、文部科学省の委託を受けて「管理職のための戦略的ICT研修カリキュラムの開発」を行ってきました。その成果を広く普及啓発するため、本研修を全国各地で実施する活動を行っています。管理職のリーダーシップのもとにICTを活用した戦略的な学校経営を行うために参考にいただければ幸いです。研修に関する情報は下記URLで詳しく見られます。研修への希望、問合せは下記までお願いします。

研修情報提供サイト <http://jslict.org>